

地域学校協働活動と コミュニティ・スクール

地域学校協働活動

地域学校協働活動とは…

地域と学校が連携・協働して、幅広い地域住民の参画により地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する様々な活動のことです。

地域学校協働活動の4つの柱

家庭教育支援

- 子育て親育ち講座
(愛着形成講話、生活安全指導、わらべ歌遊び、親子コミュニケーション、親子サッカー教室、スマートフォンとゲームの関わり、家庭でできるリンパケアなど)
- 子育てサポーター養成講座 など

地域活動支援

- ジュニア・リーダー事業・研修会
- 秋！自然体験～ジュニア・リーダーと楽しいデイキャンプ～ (インリーダー研修会)
- 青年会支援事業 など

放課後子ども教室

- 大河原小学校ほうかご寺子屋
- 大河原南小学校放課後子ども教室
- 金ヶ瀬小学校放課後子ども教室 など

学校教育支援

- 職場体験
- 子育て理解講座 (妊婦体験学習)
- 学校教育支援 (各種ボランティア派遣)
- 職業人に話を聴く会 など

2月25日 地域学校協働本部設置、「ネットワーク会議」を開催

従来の地域と学校の連携体制を基盤とし、より多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画して、緩やかなネットワークを形成することにより、多様な「地域学校協働活動」を支え推進する体制(拠点)をつくるため、2月25日に「大河原町地域学校協働本部」が立ち上げられ、中央公民館を会場に「ネットワーク会議」が開催されました。

学校と地域が同じ目標やビジョンを共有して、今後の「地域学校協働活動」を円滑・効果的に展開していきます。



学校 (コミュニティ・スクール)

学校運営協議会

学校運営・その運営に必要な支援に関する協議など



地域学校協働活動

目標やビジョンを共有

地 域

地域学校協働本部

学校(地域連携担当者)、保護者 PTA、地域住民、地域支援組織、社会教育関係団体、企業団体、関係部局等で構成



町内小中学校で

「コミュニティ・スクール」

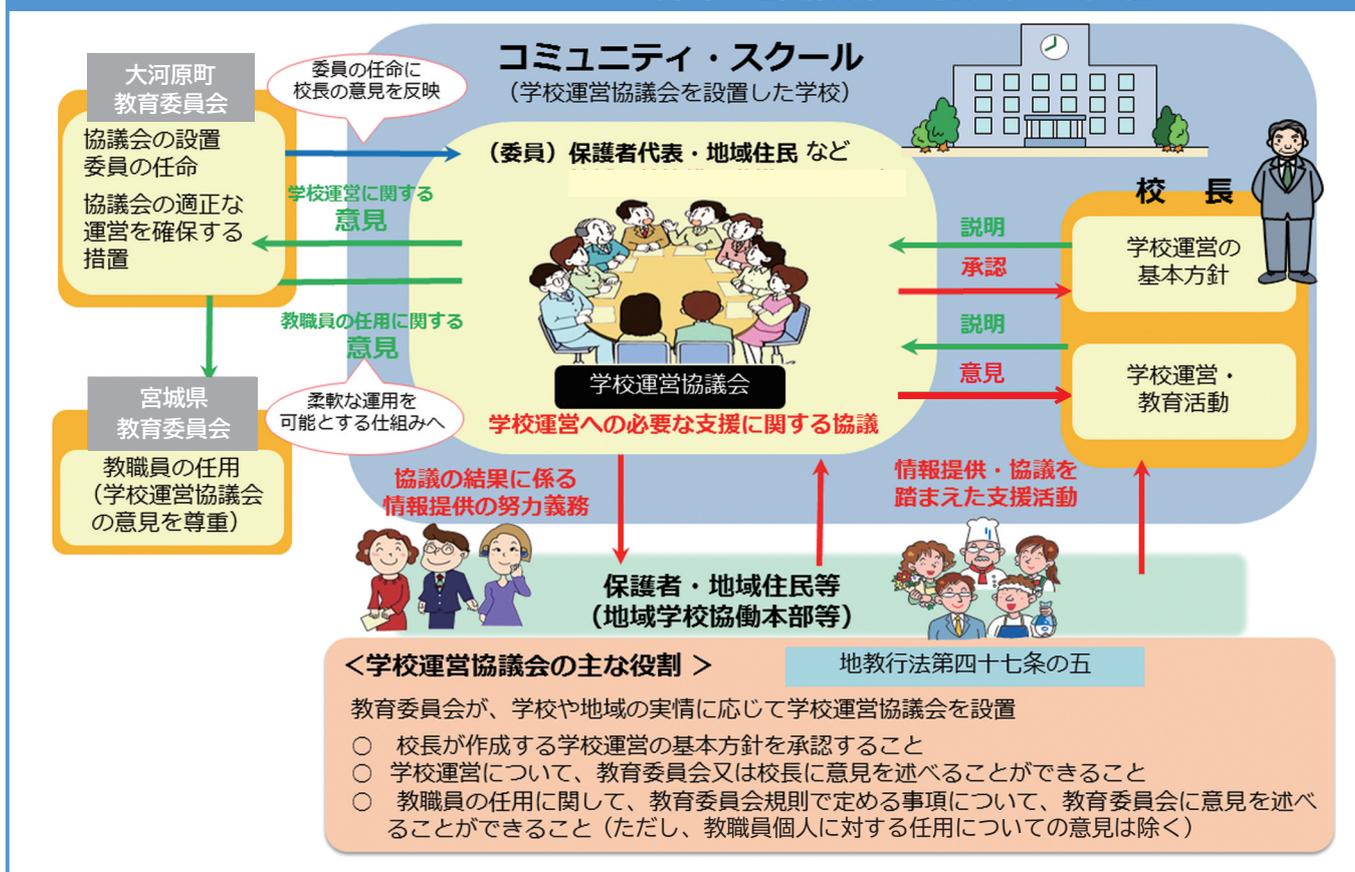
が始まります！

大河原南小は令和3年度から、他4校（大河原小、金ヶ瀬小、大河原中、金ヶ瀬中）は令和4年度からスタートします。

コミュニティ・スクールとは…

「学校運営協議会を設置した学校」であり、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組みです。これまでも地域の皆様にお支えいただきながらの学校運営でしたが、**より地域とともにある学校づくり**を目指します。なお、コミュニティ・スクールと両輪となる「大河原町地域学校協働本部ネットワーク会議」については、令和3年2月25日に設置しました。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



子どもにとっての魅力

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

※コミュニティ・スクール制度は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成29年3月改正）に規定されており、全国で4796校（平成30年4月現在）の学校で導入しています。